

右之原に藁草有、苦參、忍冬、活葉、牛膝、兔絲子、茜根、車前草。

木

一、村の中に槻一株あり、周り二丈登り九丈半。

貞享二年書上げ

東麻生村 若松より田舎道七里

一、鎮守感応明神 祭礼九月九日、下荒井村より社家来而祭、当所の者社參而遊ぶ。

相殿 当村太神宮

一、菩提所 鷺林村西福寺へ參拜す、定の寄進なし。

一、漆役木数十四本半、年々蠟漆共代六百文余にて上納す。

一、逆瀬川村へ米耆斗二升宛年々出、葉柴、かくまを取。

一、中荒井村へ米耆斗五升代五百文宛年々出大川舟橋渡る。

一、家職、繩、筵、草鞋、げんべい、田畑稼の間に仕出。

一、畠作大豆、紅花、瓜、菜、蘿蔔を売而御年貢に足す。

文化六年風土記より

東麻生村

府城の西に当り行程一里六町、家数十四軒、東西二町二間、南北一町一間、四方田圃なり。東は村際にて本郡橋爪組下米塚村に界り。其村まで七町二十間余、西二町宮袋村の界に至る。其村まで十三町十間余、南七町本郡橋爪組柏原村の界に至る。其村は辰に当り、六町五十間余、北一町、中荒井村の界に至る。其村は丑に当り七町、又申の方四町四十六間、本郡橋爪組西麻生村の界に至る。其村まで六町十四間余、戌の方二町、今和泉村の界に至る。其村まで十町。